

あの頃の 日吉村 広見町 軌跡

↓ '87年10月号
昭和62年10月1日発行

6月20日に宇和島市で行われる愛媛県消防操法地区大会。以前の広見町、日吉村で出場した選手も輝かしい成績を収めていました。今年、当町からも3分団(第1分団、第2分団、第4分団)の選手が出場します。健闘を祈ります。

(3) 昭和60年10月1日

広報ひよし

(第237号)

県消防地区大会で優勝 小型ポンプ 第二分団が快挙

第十五回愛媛県消防操法地区大会(宇和島市・北宇和郡六ヶ町村)が、去る八月二十五日午前九時から、三間中学校グラウンドで行われました。当日は、残暑なおきびしい中で、一市六町村から競選選手、関係者ら約五百人が参加。

同大会は、団員の消防精神の高揚、消防技術の習得、迅速機敏かつ確実な動作などを目的として、現在隔年ごとに行われているものです。

競技種目は、自動車ポンプの部には三間町第一分団をはじめ五チーム(一チーム五人)、「小型ポンプの部」に本村を代表して第二分団(分団長平野文雄、三十五人)外七チーム(一チーム四人)が参加、日頃の訓練の成果を次々と披露しました。

競技は、操法開始の合図により給水管結合や、ホースを延長して放水態勢までのタイムや、ホースのねじれ結合部分の確実さ等及びこれらを撤収して元の状態に復する収納までのタイム、動作の正確さを審査員二十人が減点法でチェックするきびしい審査で順位を競いました。

各団員らは、汗だくになりながら、指揮者の号令に、きびきびした動作で操法を行い、同僚や観客者から競技が終ることに大きな拍手が送られました。

本村から出場した第二分団は、他チームを上回る操法を披露、見事優勝を飾りました。同分団において度は、三回大会(昭和二十七年)以来二度目、本村では第四回大会(昭和四十年)の第一分団優勝とあわせて三回目の快挙となります。

- ◇第二分団出場団員
- | | |
|-----|----------|
| 指揮者 | 班長 井谷 和隆 |
| 一番員 | 団員 葛本 武文 |
| 二番員 | 松浦 泰保 |
| 三番員 | 音地 明彦 |
| 補欠 | 音地 幹男 |
- ◇小型ポンプの部
- | | |
|----|------------|
| 優勝 | 日吉村消防団第二分団 |
| 二位 | 津島町消防団岩松分団 |
| 三位 | 吉田町消防団第二分団 |
- ◇自動車ポンプの部
- | | |
|----|------------|
| 優勝 | 津島町消防団本部分団 |
| 二位 | 吉田町消防団第二分団 |
- なお、第二分団は、来年県大会に出場します。ますますの活躍を期待しましょう。

↑ '85年10月号
昭和60年10月1日発行

広報ひろみ

消防操法地区大会 小型ポンプの部で優勝 14年ぶり3回目



見事優勝に輝いた第5分団第4部の選手たち

消防操法の習得により団員の志気向上と消防精神の高揚を目指す愛媛県消防操法地区大会が八月三十日、吉田町の吉田球場で行われ、小型ポンプの部で広見町が優勝する輝かしい成績をおさめ、ポンプ車の部でも上位の成績をおさめました。



全力投球でポンプ車の部に挑戦した第1分団第8部の選手たち

この地区大会は二年に一度実施されているもので、これまでに小型ポンプ操法の部地区大会で、昭和三十四年に第三分団が優勝、昭和四十八年に第四分団が優勝しており、今回の優勝が三回目、十四年ぶりになります。

今回優勝した第五分団第四部の選手五人と、ポンプ車の部に出場した第一分団第八部の選手六人は、同部団員の激励を受け、大会に向けた練習を約四十五日間、夜間等に集合して続けてきました。ポンプ車の部に出場するのは久しぶりのことで、近年はずっと出場していなかったため、上位に入ったことは次回に向けての励みになります。

今回優勝の栄誉をおさめた第五分団第四部の選手は、来年に実施される愛媛県大会に出場します。県大会での優勝に期待がかけられます。県大会での優勝に期待がかけられます。

なお、今回の大会に出場した選手は次のとおりです。

鬼北の里から こんにちは！ No.6

東谷 直介さん ご家族
書 優子さん
子 心優さん

こんにちは。鬼北の里に家を建てて、早1年が過ぎました。1番にここに来たため、住み始めたときはすごく静かで暗く寂しかったです。それが今では、家も増えてとても明るくにぎやかな所になりました。これからたくさんの思い出を作っていきたいです。

